

(鹿児島市)

創業から72年 製糖、醸造といった地場産業と共に歩み 設備機械の設計、製作、据付けを培って参りました それらを糧に様々なニーズにお応えします

昭和26年の創業以来、南西諸島の基幹産業である製糖工場のメンテナンスから始まり、現在では工場全体の設計から据付けまでを行っています。鹿児島の地場産業でもある焼酎工場へは蒸留器や製麹機といった地域に密着した製品の製作も行っています。近年ではこれらの製糖・醸造の技術を活かして二酸化炭素(CO₂)排出削減を目的としたバイオエタノールプラントからのご依頼が増えています。研究開発機関とも連携して試作品の製作から実証実験まで行います。



代表取締役社長 別技 泰孝

会社概要

2024年2月現在

■所在地	〒890-0073 鹿児島県鹿児島市 宇宿二丁目6番25号
■TEL	099-256-5598
■FAX	099-256-5585
■E-Mail	mkk@matsuoco.co.jp
■URL	http://www.matsuoco.co.jp/

■代表者	代表取締役社長 別技 泰孝
■設立	1951年(昭和26年)9月
■資本金	2,000万円
■従業員数	49人
■事業概要	製糖機械、醸造機械、一般産業機械、設計・製作・販売・据付け
■主要製品	圧搾機、第一種圧力容器、各種搬送機器、醸造用機器

弊社の技術を集約した『圧搾機(ミル)』

圧搾機は製糖工場でサトウキビを搾り、ジュース(水分)とバガス(繊維)を分離する機械です。本体はもとより消耗品の製作、メンテナンスから据付けまですべて自社で行っています。近年の製糖工場では老朽化した圧搾機を更新する時期に差し掛かっており、弊社の圧搾機は、国内初のロール配置方式や駆動方式に油圧モーター(BOSCH製)を採用するなど、技術開発に鋭意邁進しています。圧搾機は製糖工場以外でもエタノールプラント・食品・農業の分野で活躍しています。大きさはイベント用の卓上型から大型工場用の2メートルほどのものまで用途に合わせて様々です。



最新方式を採用した圧搾機

第一種圧力容器から蒸留器まで色々な容器を製作します

製糖工場には搾り汁を溜めるタンク、温めるジュースヒーター、固形分を分離させるクラファイヤー(沈殿槽)、濃縮する効用缶、結晶化させるクリスタライザー、結晶缶、その他にも様々なタンクがあります。中でも熱交換器であるジュースヒーターや効用缶、結晶缶は得意とするところです。これらは第一種圧力容器で構造検査から設置申請のサポートも行っています。焼酎、ウイスキーといった蒸留酒を造る為には蒸留器が、すべてのお酒を造るには製麹機が欠かせません。これらの多種多様な製造の経験がご要望にお応えできる支えとなっています。



ジュースヒーター(圧力容器)

コンベヤ・風力選別機・スパイラル脱葉機 など

弊社では、圧搾機や容器の他にも脱葉設備であるコンベヤ・風力選別機、特許を取得しているスパイラル脱葉機、圧搾する前のケーンシュレッダーといったものまで様々な機器があります。また、機器に使用されるコンベヤですとベルトコンベヤ、チェーンコンベヤ、スクリーンコンベヤと様々な種類を取り扱っております。公共事業においては上下水道施設、清掃工場、農業施設といった地域社会に根差した工事を行っています。一般産業機械についてもお客様のニーズにお応えします。電気制御、計装、配管、保温、塗装といった工事全般で承ることが可能ですのでご相談ください。



脱葉設備(製糖工場)